



臨時勤務隊員がラジオ出演し自衛隊をPR

東京地本城東地区隊は、毎月2回生放送で出演している江東区のレインボータウンFM(大江戸ワイド)に、市ヶ谷基地航空中央業務隊輸送科から臨時勤務で配属されている松岡空士長を出演させ、自衛官募集に関する広報を実施した。

放送はラジオパーソナリティからの質問に対し松岡空士長が回答していく形で行われ、5歳年上の兄が陸上自衛官として活躍する姿に憧れて自衛官を志ざしたという入隊動機や、入隊前には一キロも走れない自身が段階的な教育訓練により十キロも走れる体力がついたという体験談をもとに、体力に自信がない方でも安心して入隊できること、また、現在所属する航空中央業務隊輸送科においてドライバーとして従事している業務内容・やりがいについて、初めての出演とは思えない落ち着いた様子でわかりやすく紹介した。

また、同じ志を持った仲間と共に教育訓練を頑張ることで、どんな困難でも乗り越えられる自信が身につくという精神面の魅力についても紹介した。最後の趣味に関する質問には、オンエア中一番の笑顔で応じ、子供の頃から大好きであった絵を描くことや漫画・アニメを通じ部内外の交友関係を広め、趣味を充実させることで、仕事とプライベートのオン・オフを切り替えられるようになることも、仕事に対する意欲も向上し充実した毎日を送っている」と熱く語った。

城東地区隊は、今後もラジオ出演を通じて広くリスナーの方々に自衛隊の魅力を発信してゆくとしている。



朝霞駐屯地部隊研修で自衛隊をPR

東京地本城東地区隊は、学生及び担任教員の自衛隊への関心と理解を促進し防衛意識の高揚を図るとともに、防衛基盤の拡充を目的として、KTC中央高等学院学生等に対する朝霞駐屯地部隊研修を実施した。

当日は、小春日和の天候に恵まれ、担任の教員3名を含む計21名が参加した。

研修では、自衛隊体育学校の広報展示室や練習場、女性自衛官教育隊の陸曹候補生課程に入校している隊員の訓練風景及び陸上自衛隊広報センターの見学を行った。

特に、体育学校では、東京オリンピックのウエイトリフティング競技で金メダルを獲得した三宅義信選手(元東京地本広報室長)が当時挙げたものと同じ重量のバーベル等が展示されており、広報担当者からの説明を熱心に聞き入る者やバーベルを持ち上げようとする者等、とても感動している様子であった。

また、広報センターでは、迷彩服を試着し施設内で記念撮影を行ったり、AHIISシミュレーター及び3Dシアターを体験し、自衛隊への関心がさらに高まった様子であった。

参加した学生からは「今日参加しなかった生徒は絶対に損をしている。すべてが貴重だった。」との感想を頂くとともに、同行した担任の教員からは「是非また来年もお願いします。」とのお話を頂いた。

城東地区隊では、引き続き各部隊等との連携を図りつつ、学生等のニーズに合わせて自衛隊をPRできる研修を積極的に企画してゆくとしている。

